

兵庫保険医新聞

第2103号

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/

2025年6月5日

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の	記事	
参議院選挙にあたっての 保険医の重点要求(案)	4面	
第105回評議員会 詳報	6~7面	
研究 面	歯科定例研より 「自家歯牙移植の基礎と臨床」	8面

ドクターに最適を提供します
春の共済制度募集
好評受付中!!

8面に広告



本号同封

保険診療法制研究会
医師・歯科医師のための
知っておきたい法律知識

兵庫保険医協会

▲本号同封の『医師・歯科医師のための知っておきたい法律知識』。サーモンピンクの表紙が目印です!

業後も経営に関わる法的トラ

このたびの冊子では、開業医またはこれから開業されるであろう各場面においてトラブルになりやすい場面を想定し、紛争予防的な観点から、法的アドバイスをできる限り簡潔にまとめました。

ぜひ、会員の皆さまにお手にとりいただき、お役に立っている一冊になればと執筆者一同願っています。

※本号に冊子を同封。お問い合わせや追加ご注文は、☎078-393-1840まで

崩れる暮らしと医療

命の優先順位

7月参議院選挙で問われる

「命の優先順位」

「NO!」

兵庫保険医協会

「知っておきたい法律知識」が一冊に

医師・歯科医師が

協会顧問弁護士 野田 倫子

「知っておきたい法律知識」が一冊に

医師・歯科医師が

協会顧問弁護士 野田 倫子

このたびの冊子では、開業医またはこれから開業されるであろう各場面においてトラブルになりやすい場面を想定し、紛争予防的な観点から、法的アドバイスをできる限り簡潔にまとめました。

このたびの冊子では、開業医またはこれから開業されるであろう各場面においてトラブルになりやすい場面を想定し、紛争予防的な観点から、法的アドバイスをできる限り簡潔にまとめました。

ぜひ、会員の皆さまにお手にとりいただき、お役に立っている一冊になればと執筆者一同願っています。

※本号に冊子を同封。お問い合わせや追加ご注文は、☎078-393-1840まで

参院選を前にパンフレットを発行

協会は7月に予定される参議院選挙を前に、パンフレット「崩れる暮らしと医療」を7月参議院選挙で問われる命の優先順位」を発行した。本パンフレットは、いま医療現場で進行している深刻な実態と、それを

医療と暮らしの破壊に



必要な医療が受けられなくなる!?

物価や人件費の高騰に對し、診療報酬はほとんど引き上げられず、2025年3月の調査では全国の病院の6割が赤字に転落していた。入院ベッドの削減や診療所の閉鎖も続いており、地方を中心に「必要な医療がすぐに受けられない地域」が確実に広がっている。

役並み所得とみなす基準を引上げて3割負担の対象者を増やし、さらには収入だけでなく「資産」も負担判定の材料とする方向で議論が進んでいる。これは、生活の実態を無視した乱暴な制度設計であり、高齢者の医療アクセスを狭める危険性がある。

「知っておきたい法律知識」が一冊に

医師・歯科医師が

協会顧問弁護士 野田 倫子

「知っておきたい法律知識」が一冊に

医師・歯科医師が

協会顧問弁護士 野田 倫子

「知っておきたい法律知識」が一冊に

医師・歯科医師が

協会顧問弁護士 野田 倫子

燭心

15世紀の欧州を
仮想舞台に、禁忌とされた地動説の研究に命を懸けた人たちの生き様を描いたSF作品「チ。―地球の運動について―」、昨年10月から今年3月まで全編がアニメ放送され、世界で反響を呼んでいる。科学・哲学・宗教、そして暴力など、重いテーマを扱った作品であるが、世界メディアの評価は高い▼物語の中盤で、主役として登場する隻眼の修道士は、慧眼の従者らとの観測で金星の満ち欠け発見、さらに火星の逆行運動の動態から惑星の公転軌道が楕円であると解明し、地動説は証明できると確信した。しかし、異端の嫌疑をかけられ追われる身となり、先人の研究成果を燃やし国外への逃亡を決意する▼だが、従者は問う。「自らが間違っている可能性」を肯定する姿勢が、学術や研究において大事なのではないか。私たちが解明した真実の一端も、先人の研究と同じく、他者に託し検証の道を残すべきだ。不完全な理論を永遠の真理だと信じて殉じたとしても、それは科学ではない▼このシーンはSNSで話題となり、世界のメディアが取り上げたことで、本作品が各国で配信数を記録的に伸ばすきっかけとなった▼「地」人は生まれた地域の「血」時に異なる考えをめぐり争いが起きた。「知」しかし、人は対話を通じ、過ちを認め合うことで得た「知」を後世に託し、世界の文明を発展させてきた▼平和憲法の理念こそ、わが国の得た「知」であり、私たちは後世に託す責務を果たすべきだ。(眞)

ラジオ関西番組「聴く医療」(24年10月~25年3月)を振り返る 鋭い視点で医療・災害・福祉など 多岐にわたるテーマを取り上げ



フリーアナウンサー
医療ジャーナリスト
寺谷 一紀さん

協会が提供するラジオ関西番組「兵庫県保険医協会の聴く医療」は昨年10月〜3月の放送を終了した。去年の日曜朝放送から土曜日朝6時30分〜に放送時間を変更。会員や他協会の役員も合わせて26人が出演し、医療に関わるさまざまな話題をお届けした。パーソナリティを務めた、元NHKアナウンサーで医療ジャーナリストでもある寺谷一紀さんに全26回の放送を振り返ってもらい、「印象に残った放送回」を選んでもらった。

今期も半年間、番組を通じて多くの医療に関する情報を発信することができました。ご出演いただいた先生方や保険医協会の関係者の皆さまに、改めて御礼申し上げます。初回と最終回の放送(①)は、マイナ保険証の問題点を明快に指摘し、誰もが安心して診たい先生方や保険医協会の関係者の皆さまに、改めて御礼申し上げます。初回と最終回の放送(①)は、マイナ保険証の問題点を明快に指摘し、誰もが安心して診たい先生方や保険医協会の関係者の皆さまに、改めて御礼申し上げます。

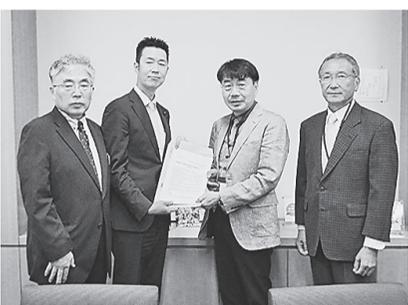
5・15 中央要請行動 すべての人が安心して医療を受けられるよう 従来の保険証継続の実現を

診療報酬マイナ改定に物価高が加わり経営が極めて厳しい状況となっている医療機関への緊急財政措置、従来の保険証使用継続、資格確認書の一律発行、保険でより良い歯科医療の実現を求め、協会・保団連は5月15日、中央要請行動を実施。兵庫協会から白岩一心副理事長、小寺修評議員、川西敏雄参加が参加した。

井坂議員は「年金改正法案が与党からやっと示された。生活に関わる重要な課題なのに、参議院選挙を見据え先延ばしにされてきた。現役世代や若者の年金をきちんと保障するためしっかり議論していきたい」とした。

桜井議員は保険証について「保険者によっては間もなく期限が到来し、医療現場ではさらなる混乱が起きることを懸念している。従来の保険証

当日は井坂信彦・桜井周・橋本慧悟(いずれも立憲)、池畑浩太郎(維新)、大石あ



「現役世代や若者の年金を保障するためしっかり議論を」と述べた井坂議員(左2人目)



「従来の保険証を守っていくために力を尽くす」と述べた桜井議員(左2人目)



「消費税一律減税を目指していきたい」と述べた橋本議員(右2人目)



「企業・団体献金は廃止しなければならぬ」と述べた池畑議員(左2人目)



「医療費4兆円削減計画は大問題」と述べた大門議員(右2人目)



「消費税は廃止しない」と述べた大石議員(右2人目)

橋本議員は消費税について「党としては食料品の消費税ゼロを掲げているが、個人的にはこれがベストだとは考えていない。一律減税、一律ゼロ、インボイスの廃止を目標していきたい。保険証について「復活法案を提出した。野党で一致して実現したい」とした。

池畑議員は「企業・団体献金は廃止しなければならぬ。」「食料自給率も重要な問題だ。兵庫県は神戸牛が世界的にも有名だが、実際には酪農家は後継者がおらず困難を抱えている。抜本的な対策が必要だ」とした。

大石議員は消費税について「各党がさまざまな案を出しているが消費税は廃止しかない」と述べた。

大門議員は「自民・公明・維新の医療費4兆円削減計画は大問題」「次の参議院選挙で命や健康を守る政治に転換させなければならない」と述べた。

「保険証を使い続けたい」署名188万筆提出

保団連や中央社保協は衆議院第二議員会館内で、「保険証を使い続けたい」署名提出集会を実施。現地、オンラインを含め全国420人が参加し188万5594筆の署名を提出した。

竹田智雄保団連会長がトラブルアンケートの結果を報告。「電子証明書の有効期限切れ」が前回調査より大幅に増えており、今後も窓口でのトラブルが起きることが懸念される。また、トラブル時には従来の保険証で資格確認を行っている医療機関が8割にのぼり、7割が従来の保険証の復活・併用を求めているとし、受療権を守るために従来の保険証を使い続けられるようにすることを求めた。

また、介護分野、障害者団体からも「世田谷区と渋谷区が各国保加入者すべてに資格確認書の発行を決めた。他の自治体・保険者もあとに続くよう運動をすすめよう」との発言があった。

立憲、共産、れいわの国会議員が13人参加し「従来の保険証の廃止はやはり失敗だった。すべての人が安心して医療を受けられるよう守るのが政府の役割だ」と発言した。

寺谷さんが選ぶ 印象に残った放送回

- ① 10月5日 「保険医協会の紹介とマイナ保険証の問題点」 西山裕康理事長
3月29日 「窓口負担ゼロの会」 西山裕康理事長 & 大阪歯科協会 小澤 力理事長
- ② 1月4日 「能登半島地震一年」 足立了平先生
1月11日 「阪神・淡路大震災、30年目の課題」 上田進久先生
- ③ 12月7日 「リビング・ウイルとACP(人生会議)」 豊國剛大先生
12月21日 「マイコプラズマについて」 森岡芳雄先生

「能登半島地震一年」や「阪神・淡路大震災、30年目の課題」も印象的でした(②)。

災害避難時における口腔ケアの大切さや、アスベストによる健康被害など、大手メディアが取り上げない鋭い切り口で、まさにこの番組の真骨頂とも言える企画だと思います。

私自身、この番組がなかったら、誤嚥性肺炎が災害時の長年研究してきた私としては、コロナ禍以来、様々な微生物がかわるがわる流行を繰り返す昨今の状況を注視しています。

リビング・ウイルと人生会議については、一般のリスナーさんほとんど知らなかった話であると同時に、これらの超高齢社会で避けて通れない取り組みでしょう。

これからも、リスナーさんにとって有意義な、発見の多い番組を目指して頑張ります!

「兵庫県保険医協会の聴く医療」YouTubeで配信中!

放送はすべてYouTubeでご覧いただけます。患者さんに知らせるなど、ご活用ください。

兵庫県保険医協会 聴く医療 検索 または右の二次元コードから

「大軍拡反対」請願署名にご協力を

政府は2023年度から27年度まで43兆円もの予算を防衛費につぎ込み、医療・社会保障予算をはじめとする国民の暮らしへの予算配分を圧迫しています。

こうした政府の動きに対して、新たに「税金はくらしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名」(「大軍拡反対」請願署名)が提起されました。協会はこの提起に応じて、新しい署名に取り組みます。

今夏の参議院選挙に向けて「戦争準備の軍拡は中止」「いのち、くらしを守る政治への転換を」の声を上げることが重要です。本号に署名用紙を同封しておりますので、ぜひご協力ください。

追加注文・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

国際部「やさしい日本語」実地研修会

知っておくと大変役に立ち 「コミュニケーション力もアップ」

国際部は4月20日に「やさしい日本語」実地研修会を協会会議室とウェブ配信の併用で開催。あわせて18人が参加し、患者役の外国人を相手に、診療の現場を想定したロールプレイを行った。半田伸夫先生の感想を紹介する。



Zoomで楽しく研修会を振り返る参加者

初夏の日差しの日、上記研修会に現地参加した。近年日本語に堪能でない外国人が増えており、コミュニケーションの難しさを感じることが多い。外国人向け日本語教師のグループ、「関西ろくぶんのろく」が進めている「やさしい日本語」を、医療現場で活かすことができるかどうかで

る。最初にその内容の講義があった。はさみの法則がある。「は」は「は」きり言う。「さ」は「さ」きり言う。「み」は「み」きり言う。敬語や丁寧語はなるべく使わず、です、ます、で区切る。図やイラストを使うなどの説明を受けた。

その後三つのグループに分かれて、ウィクトリアさん、グルナラさん、ハニフさんという、日本語がそれほど上手でない3人が、病院を受診した際のロールプレイを行った。受診動機や、処置の説明などを「やさしい日本語」で説明するのだが、なかなか難しい。結局英語交じりで説明したり、翻訳アプリを駆使したり、図を使ったり、ボディランゲージしたりなど、参加者全員四苦八苦して対応した。

貧困放置の日本は 先進国に値するか？

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会

【西宮市 半田 伸夫】



「歯の健康相談」で市民の悩みにアドバイスした

協会などで構成する「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会は4月13日に市民学習会「子どもの貧困と健康・医療」に「ひとり親世帯」の現状と施策についてを開設した。(本紙5月5日号既報)。参加した富永弘久先生の感想を紹介する。

推移あるいは国際比較を通して明示して、日本の貧困の実相、その特殊性を浮き彫りにされました。

今回の講師の藤原千沙先生は法政大学「大原社会問題研究所」教授、実はこの大原社会問題研究所、あの倉敷の大原孫三郎氏の1919年設立

「腐っても鯛」、国家機関というのは自公政権の下でもこの役割を担っているのだと改めて学びました。現代ほど経済格差の広がったものでは、社会における政府の役割(企業の役割もですが)のさらなる発揮が求められるだろうとしみじみ思います。

きいと感じた。当院でもコルチコトミー(歯槽骨皮質骨切除術)やコルチンシオンを行っているが、北村先生の症例のすごさには圧倒された。

膜の重要性を改めて再認識しました。後半では、適応症と術式の説明が行われました。患者さんの年齢により成功率は左右されるという点を十分に理解した点、適切なドナーとなる歯根の状態、移植床の形成、歯根完成歯を移植した場合いつから根管治療を開始しいつまで

4月 歯科定例研究会

矯正治療の最前線を知る

歯科部会は4月27日、協会会議室で定例研究会「加速矯正による治療期間短縮のコンセプト」を開催。東京都・二子玉川矯正歯科院長の北村敦先生を講師に、25人が参加した。参加したうじま歯科・矯正歯科クリニックの牛嶋星地先生の感想を紹介する。

矯正治療期間の短縮、効率的な歯の移動、矯正治療による痛みの軽減につながり、患者、医院双方にメリットが大きいと感じた。

矯正治療期間の短縮、効率的な歯の移動、矯正治療による痛みの軽減につながり、患者、医院双方にメリットが大きいと感じた。

また、コルチンシオンと結合組織移植術(CTG)等の歯周組織再生療法の併用の有効性も感じた。

今回は、RAP (Regional Acceleratory Phenomenon) 局所再生促進現象) 効果の素晴らしさに感銘を受けたセミナーであった。RAP効果は



矯正治療の期間短縮法を説明した北村先生

矯正中のバイブレーション

5月 歯科定例研究会

自家歯牙移植とインプラント

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会

【灘区・歯科 牛嶋 星地】



インプラントと自家歯牙移植それぞれの利点を説明した泉先生

この数年3Dプリンターの登場により歯科業界においてもエポックメイキングが起きています。自家歯牙移植においては、CTデータから移植のドナー歯のレプリカを作成することによって、より簡便で移植歯の歯根膜のダメージを防ぐことにつながっていると考えられています。

前半では、インプラント vs. 自家歯牙移植というテーマで、どんな治療法においても100%成功というものはないもの、それぞれの利点欠点の説明がされました。歯根

協会会議室で定例研究会「自家歯牙移植の基礎と臨床」インプラントと自家歯牙移植の棲み分け」を開催。滋賀県・泉歯科医院院長の泉英之先生を講師として、60人(来場15人/Zoom45人)が参加した(8面に講演録を掲載)。安藤将先生の感想を紹介する。

今回の講師である泉英之先生は、外傷歯と自家歯牙移植

理事会 レポート

- ◇出席 27人
- ◇報告・確認事項 第105回評議員会 5/18、特別講演「台湾有事」を起こさせないために一講師・前泊博盛 沖繩国際大学教授、議案等の討議・確認の日程、次期役員選出、会務報告が提案、確認された。
- ◇情勢 厚生労働省は、「高額療養費制度の在り方に関する専門委員会(仮称)」を医療保険部会の下に設置する。患者負担増に関する議論は秋ごろに再検討。
- ◇医療運動対策 参議院選挙向け政策パンフレット「命の優先順位」を作成することを提案し、了承された。
- ◇歯科部会・「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

- ①「保険でより良い歯科医療を」全国連絡会署名提出集会(6/5)に参加し、「保険でより良い歯科医療の実現を求める請願署名」を提出すること、②第2回歯科社保学習会「基本診療料、医学管理」(4/13)、講師：川村副理事長、小松・多田(西理事)を開催したこと、③毎日放送の報道・情報番組「よんちゃんTV」からの取材依頼に応え、出演したこと(5月7日放送)が報告された。
- ◇災害対策 全国対連「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める請願署名」に取り組みすることが了承された。
- ◇九条の会・兵庫県医師の会 「貧国強兵」化する日本―安全保障のあり方を問う―(5/24)講師：宮崎礼二(明海大学准教授)への参加が呼びかけられた。(5月10日 理事会より)

**会員
いんかお
めいしん**

歯科医師募集

◇神戸市中央区中山手通 7-25-43

◇正職員、パートいずれも選択可能

◇詳細は当院求人サイトから
<https://doctorfile.jp/jobs/h/165030/offer/>



☎078-351-6411 院
長・湯川まで

第3回歯科社保学習会&歯科臨床談話会「検査、画像診断、投薬、処置、手術」

日時 6月22日(日) 14時~17時15分 会場 協会会議室

14時~ 社保学習会 講師：協会歯科社保講師陣

16時15分~ 臨床談話会 話題提供
「高齢者における歯科用骨形態評価プログラムを使用した骨粗鬆症リスクの評価」
三田市・大槻歯科医院院長 大槻榮人先生

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1809まで

2025年参議院選挙にあたっての

保険医の重点要求(案)

2025年5月 兵庫県保険医協会

兵庫県保険医協会は5月24日の第1210回理事会で、7月に実施が予定される参議院選挙に向けて、「2025年参議院選挙にあたっての保険医の重点要求(案)」を承認した。この要求(案)を各候補者に示し、見解を求める。要求(案)全文を掲載する。

今次参議院選挙にあたり、私たち保険医は、これまでの医療・社会保障抑制政策を転換し、国民のいのちと暮らしを守る政治の実現を強く求める。

2024年度診療報酬改定では、依然として実質的なマイナス改定が続き、医療機関の経営環境は一層悪化している。感染症対策費の打ち切り、物価高騰や人件費上昇、エネルギー価格の高止まりに加えて、医療DX対応義務化などの新たな負担が医療現場にのしかかっており、地域医療の存続すら危ぶまれる深刻な事態となっている。

また、2024年から始まった後発医薬品の選定療養費化や、凍結されているものが高額療養費制度の改悪方針は、公的保険の枠組みを徐々に解体し、市民の受療権を大きく脅かすものである。マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」への移行も、制度不備と国民の不信の中で強行され、国民皆保険制度の根幹が揺らいでいる。

政府・与党はさらに、金融資産に応じた負担増や、医学部定員の削減、保険給付範囲の見直し、介護サービス利用料2割負担の拡大、ケアマネジメントへの利用者負担導入、軽度者向けサービスの地域支援事業移行など、一貫して社会保障削減路線を進めようとしている。私たちは、こうした医療・社会保障抑制政策を直ちに中止し、医療・介護の拡充、患者・国民負担

の軽減を強く求める。一方、政府は過去最大となる防衛予算を計上し、敵基地攻撃能力の保有、自衛隊の統合作戦司令部の設置、武器輸出のさらなる解禁など、憲法9条を踏みこむ軍拡路線を急速に推進している。2025年4月の日米首脳会談では、自衛隊の指揮権までも米軍に事実上一体化させる姿勢が示され、日本の主権が根幹から揺らぎかねない事態に至っている。被爆80年の節目を迎える中で、こうした動きは平和国家としての歩みに逆行するものであり、断じて容認できない。

また、自民党派閥による政治資金パーティー裏金事件に対し、政府・与党が抜本的な再発防止策を講じていないことは、政治のモラルの崩壊と民主主義の劣化を象徴している。旧統一教会との癒着も未解決のままであり、政治の信頼は大きく損なわれている。

2024年の衆議院総選挙の結果、与党は議席を減らしたものの、日本維新の会や国民民主党などが「改革」路線を掲げて一定の影響力をもち、実質的に与党の補完勢力として機能する構図が強まっている。これらの勢力は患者負担増、公的医療費の抑制などを推進しており、医療の公益性を損なう重大な懸念がある。

特に日本維新の会は、2025年2月に発表した「社会保険料を下げる改革案(たたき台)」において、医療費の

自己負担割合引き上げや保険給付範囲の見直しなどを通じて、国民医療費を2030年度までに4兆円削減する方針を明記しており、その実現に

1、医療・社会保障制度の改善要求

①地域の医療機関を守るため、期中改定を行い、診療報酬を抜本的に増やすこと。
②急性期病床削減ありきの地域医療構想策定ガイドラインを都道府県に押し付けないこと。

③地域医療構想に、都道府県が、地域の住民はもとより地域の医療関係者の意見を十分に反映させ、災害や新興感染症対策を見越して余力を持つた病床数を将来推計に反映させることができるようにすること。
④地域医療構想の中で、公立・公的病院の役割を評価し、無理な統合を行わないこと。

⑤医師不足を解消することもに相次ぐ医師の過労死を防ぐため、医師、看護師などの養成数を増やすこと。
⑥従来の健康保険証を存続させることも、医療機関に医療DXに係るシステムの導入を強制したり、それに伴う金銭的負担を押し付けないこと。

⑦患者負担増計画を撤回し、医療費窓口負担割合を引き下げること。子どもの医療費窓口を減らすこと。
⑧歯科診療報酬を大幅に引き上げ、保険の利く範囲を広げること。
⑨歯科技工士・歯科衛生士の労働環境を改善すること。
⑩金パラ逆ザヤ解消を行うとともに代替材料の開発と保険適用を行うこと。

⑪混合診療の全面解禁につながる選定療養費制度のさらなる拡大などを行わないこと。
⑫国庫負担の引き上げで国保保険料を引き下げること。
⑬介護保険制度を抜本的に見直し、介護報酬を引き上げ、必要なサービスが受けられるよう認定方式を改めるとともに、保険料を応能負担に改め、利用者負担を引き下げること。

⑭年金積立金の投機的運用を止めるとともに、自動的に年金支給額を減らす「マクロ経済スライド」を廃止し、最低保障年金制度の創設をめざすこと。
⑮医療の公益性を守る事業税・非課税措置と4段階税制を存続させること。

⑯能登半島地震の医療費一部負担金免除措置を、生活再建が完了するまで延長し、全被災医療機関の再建に公的支援を行うこと。

ある。私たちは、こうした政治勢力の伸長が国民のいのちと暮らしに深刻な影響を及ぼすことを深く憂慮する。私たちはいのちと健康を守る

2、災害復興を求める要求

①被災者生活再建支援法の支援限度額引き上げ、半壊・一部損壊世帯・住宅店舗への適用拡大、災害規模による適用条件の廃止を行うこと。

②被災地復興に直接関係のない事業に復興予算を流用するのをやめ、被災者の生活再建に真に役立つ予算執行を行うこと。

③被災地復興に直接関係のない事業に復興予算を流用するのをやめ、被災者の生活再建に真に役立つ予算執行を行うこと。

④安全確保関連法を廃止し、集団的自衛権行使容認の閣議決定を取り消すこと。

⑤憲法を守り、憲法どおりの国づくりをめざすこと。
⑥沖繩・普天間基地を無条件

⑦憲法を守り、憲法どおりの国づくりをめざすこと。
⑧沖繩・普天間基地を無条件

⑨憲法を守り、憲法どおりの国づくりをめざすこと。
⑩沖繩・普天間基地を無条件

⑪安全確保関連法を廃止し、集団的自衛権行使容認の閣議決定を取り消すこと。
⑫憲法を守り、憲法どおりの国づくりをめざすこと。
⑬沖繩・普天間基地を無条件

3、財政構造の転換を求める要求

①消費税を減税し、インボイス制度を廃止するとともに、医療機関の控除対象外消費税をゼロ税率導入により解決すること。
②防衛予算の急拡大など、税金の使い方を見直し、社会保障への公費負担を拡充すること。
③空前の利益を上げ、内部留保を積み増している大企業

に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
④大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

⑤空前的利益を上げ、内部留保を積み増している大企業に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
⑥大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

⑦空前的利益を上げ、内部留保を積み増している大企業に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
⑧大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

⑨空前的利益を上げ、内部留保を積み増している大企業に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
⑩大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

⑪空前的利益を上げ、内部留保を積み増している大企業に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
⑫大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

⑬空前的利益を上げ、内部留保を積み増している大企業に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
⑭大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

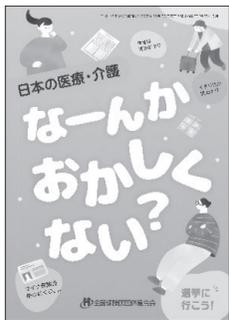
⑮空前的利益を上げ、内部留保を積み増している大企業に、安定的雇用の拡大、賃金の引き上げを求め、社会保障料収入を確保すること。
⑯大企業や富裕層向けの優遇税制をあらため、法人税や所得税率を引き上げ、社会保障の財源を確保すること。タックスヘイブンなどにより税金逃れを行っている企業や富裕層に追徴的に課税すること。

今号同封の保団連作成リーフレット

兵庫作成リーフレット「7月参議院選挙で問われる命の優先順位」(1面)とあわせて、ご活用ください!

「日本の医療・介護 なーんかおかしくない?」

「なんで保険証を廃止したの?」「高額療養費の負担上限額引き上げはどうして?」「どうして武器ばかり買っているの?」などおかしい現状の裏側を解説しています。「おかしい!」の思いを投票で国に伝えよう!



「医療と消費税の関係」

参議院選挙で大きな争点となる消費税の実状、社会保障の充実のためと増税されている一方で社会保障は改悪の連続であること、医療費と消費税の関係(「損税」)の解説など消費税について詳しく解説しています。



追加ご注文・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

尼崎アスベスト第18回総会

増大するアスベスト被害に 向き合った救済を

協会尼崎支部も参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」(会長・潮江診療所所長・船越正信先生)は4月19日、尼崎市第18回総会を開き、34人が参加した。会長に船越正信先生、代表委員に協会尼崎支部長の綿谷茂樹先生が再任、協会環境・公害対策部長の森岡芳雄先生からのメッセージが紹介された。



国の認定基準を被害実態に応じた内容に変更させ、被害者救済活動を続けようとする確認

要た」と述べた。

常の問題になった「クボタシンヨック」から20年を迎えるが、アスベストによる健康被害は毎年増え続けている。全国的に見ても、建築物解体や震災による倒壊等で、知らない間にアスベストに曝露する危険性が身近にあり、今後被害者が増加することが予想されている。胸部レントゲンなどの検診を毎年受けられる仕組みをつくること、アスベスト規制を怠ってきた国と企業の責任を認めさせ、すべての被害者の救済をすることが重

要た」と述べた。会務報告では、保険医協会提供のラジオ番組で紹介したことや、健康相談会を開いて石綿健康管理手帳が取得できなかったこと、尼崎市によるCTを含むリスク調査事業につないだことなどの活動報告を行った。今後の方針として、厳し

い国の認定基準を被害実態に応じた内容に変更させることや、アスベストを知らない市民が増えている中、継続した宣伝と被害者救済活動を続けることなどが確認された。

質疑では、「アスベストに全く関係のない仕事をしていた友人が相次いでアスベスト関連疾患で亡くなった。国や市はもっと啓発してほしい」「尼崎市の中皮腫発症は全国平均の10倍以上と深刻で、特にクボタ旧神崎工場付近に住んでいた被害者はさらに発症している。市外に転出した人も含めた相談・補償体制の確立が必要」などの意見が出された。

消費税率の廃止または減額について政府が反対する理由は、消費税は全額が社会保障費に使われるので、消費税率が少なくなればどこから財源をもってくるか、社会保障費を削るしかならないということである。

また、複数の政党では過去20年の一般財源の内訳から、消費税が増えた分は大企業の消費税率の引き上げによるものという見方がある。伊賀 幹二

以前、私が開業していた長野県で、「サ高住」を運営する介護事業者が破産し、長野地裁から破産開始手続き開始の決定がされたとの報道があった。

消費税率の是非ならびにその財源をどうするかは議論に参加する人々には上記がない。消費税は一般財源である。特定財源ではないので、どこに使用されたかを推定することはできても、確定することが事実である。

私の映画案内

教皇選挙

25年4月21日午前7時30分、キリスト教カトリック教会のローマ教皇「フランシスコ」氏が、脳卒中と不可逆性の心不全で死去されました。報道は世界中に駆け巡り、わが国でも、惜しむ声が全国各地から聞かれます。2019年11月24日には、教皇として38年ぶりに日本を訪れて、広島と長崎にてスピーチを述べられました。広島では「核兵器は使うことも持つことも倫理に違反する」と高らかに述べ

べられ、核兵器廃絶の立場を強調されました。死去前日の4月20日には、復活祭の式典のため、聖ペトロ大聖堂のバルコニーに車いすに乗って登場されました。広場に集まった多くの人々を前に、「親愛なる兄弟姉妹の皆さん、復活祭おめでとうございます」と祝福されていました。その後、質素なお葬式や質素な埋葬を遺書として残されたことも報道で添えられました。

ローマ教皇の死去に対し、哀悼の意を込めて、現在公開中の映画作品「教皇選挙」を案内します。

23年95回アカデミー賞で国際長編映画賞ほか4部門を受賞した「西部戦線異状なし」のエドワード・ベ

ルガー監督が、ローマ教皇選挙の舞台裏と内幕に迫ったミステリー作品です。作品では細かい取材と研究が行われたことも伺い知れます。特に教皇選出の密室の裏側や闇に迫る、実話のような興味深いフィクション作品でもありません。ストーリーを紹介し

主人公・ローレンス枢機卿が、バチカンに震動させるある秘密を知ることとなります。その秘密とは？それがどのように影響を及ぼすのか？これが最大の見どころになります。

また、複数の政党では過去20年の一般財源の内訳から、消費税が増えた分は大企業の消費税率の引き上げによるものという見方がある。伊賀 幹二



23年95回アカデミー賞で国際長編映画賞ほか4部門を受賞した「西部戦線異状なし」のエドワード・ベ

ルガー監督が、ローマ教皇選挙の舞台裏と内幕に迫ったミステリー作品です。作品では細かい取材と研究が行われたことも伺い知れます。特に教皇選出の密室の裏側や闇に迫る、実話のような興味深いフィクション作品でもありません。ストーリーを紹介し

主人公・ローレンス枢機卿が、バチカンに震動させるある秘密を知ることとなります。その秘密とは？それがどのように影響を及ぼすのか？これが最大の見どころになります。

また、複数の政党では過去20年の一般財源の内訳から、消費税が増えた分は大企業の消費税率の引き上げによるものという見方がある。伊賀 幹二

以前、私が開業していた長野県で、「サ高住」を運営する介護事業者が破産し、長野地裁から破産開始手続き開始の決定がされたとの報道があった。

消費税率の廃止または減額について政府が反対する理由は、消費税は全額が社会保障費に使われるので、消費税率が少なくなればどこから財源をもってくるか、社会保障費を削るしかならないということである。

また、複数の政党では過去20年の一般財源の内訳から、消費税が増えた分は大企業の消費税率の引き上げによるものという見方がある。伊賀 幹二

以前、私が開業していた長野県で、「サ高住」を運営する介護事業者が破産し、長野地裁から破産開始手続き開始の決定がされたとの報道があった。

スタッフの採用・育成でお困りではありませんか？ 経営状況を把握していますか？

医院経営に関する幅広い知識を習得できる！

会費は 月額2,000円

医院経営研究会

2025年度カリキュラムが6月スタート！

◆2025年度セミナー(例会)カリキュラム(予定)

2025年	2026年
6月28日(土) 日常記帳講座(初級~中級)	1月24日(土) パソコン決算講座
7月26日(土) 賃金に関する税制改正のポイント	1月~2月 税務個別相談
8月23日(土) パソコン記帳講座(初級~中級)	2月初旬 確定申告研究会
9月27日(土) 医療機関のリーダーづくり(仮)	4月25日(土) 採用・定着のポイント(仮)
10月25日(土) 個人医院の閉院時の税務・労務と相続対策	5月23日(土) 開業医が知っておきたい法知識(仮)
11月22日(土) 年末調整	
12月13日(土) 決算処理講座	

※セミナーは原則として毎月第4土曜日の14時30分~17時に開催。パソコン講座以外は、Zoom配信も予定

- ◎毎月のセミナー(1回3,000円)を参加費無料で受講できます(パソコン講座(通常7,000円)はパソコン使用料1,000円のみを頂きます)
- ◎セミナーのテキストとレポート(通常2,000円)を無料でお届けします
- ◎協会推奨の伝票類(通常1冊200円)が無料でご利用いただけます
- ◎税理士や社労士など専門家との個別相談が無料(年2回まで。通常1時間5,000円)
- ◎税務・雇用管理の書籍(通常1,000円)を改訂毎に無料でお届けします

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

原発ゼロを求める請願署名にご協力を

政府は第7次エネルギー基本計画から「原発の依存度の低減」を外し、「原発の最大限活用」を明記し、原発推進政策への転換を進めています。

原発は「安いエネルギー」とは言えず、再生可能エネルギー普及の最大の障壁です。地震や津波が多い日本で原発の運転を続けることは大変危険であることは明白です。協会・保団連は、「原発ゼロと再生可能エネルギーへの転換を求める請願署名」(原発ゼロを求める請願署名)に取り組みます。

請願署名は本号に同封しております。ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。

署名用紙の追加注文は、☎078-393-1807まで

▲本号に同封のチラシ

投稿員

消費税廃止の議論の前提として

西宮市 伊賀 幹二

投稿員

サ高住の破産

丹波市 眞田 幸昭

以前、私が開業していた長野県で、「サ高住」を運営する介護事業者が破産し、長野地裁から破産開始手続き開始の決定がされたとの報道があった。

施設によっては、食事の提供もままならない状態であるという。介護保険法によると、事業を停止する場合は、1カ月前に所轄官庁に届け出

消費税率の是非ならびにその財源をどうするかは議論に参加する人々には上記がない。消費税は一般財源である。特定財源ではないので、どこに使用されたかを推定することはできても、確定することが事実である。

拙著「アレルギーと上手につきあうためのヒント」の中でも、「規制緩和の後、いろいろな業種が介護に参入し施設の新規参入が続くものの、行政がその内容を詳しく点検するところには至っていないので、施設の質にはかなりの幅があるように思える」と指摘した。(61ページ、開業医の落日)

本件に限らず、このような事例は増加する可能性がある。保険診療の世界でも、新規採用保険点数を定着後、切り下げる手法にも痛い目にあわされている。広い意味で補助金行政の特徴として屋根に上りておいてはごを外す国の姿勢を、あらためて利用者の立場に立たせなければならぬ。

(2025.5.5)

第105回評議員会 詳報

地域の声もとに政策転換を

5月18日に開催された第105回評議員会の理事長あいさつ・発言・執行部答弁・決議の要旨を掲載する。

理事長あいさつ

医療費抑制政策を転換し 地域医療の未来構築を

理事長 西山 裕康



低医療費政策に加え、物価高騰、人件費上昇、医療人材確保の困難さが重なり、診療所・病院を問わず多くの医療機関が深刻な経営難に直面し、医療従事者の疲弊も深刻化している。背景には、「医

療費抑制政策」に基づく「医療費抑制政策」が存在する。6割を超える病院が赤字、全国の大学病院も多くが厳しい経営状況にあり、県直営の10病院はすべてが2年連続赤字で、民間病院に置き換えれば倒産が目撃される。ある日突然、地域の基幹病院が消える――そんな未来すら現実になりかねない。

医師不足を「偏在」問題にすり替え、都道府県の権限強化、開業規制や管理者要件の拡大、地域別診療報酬といった制度改悪が進められようとしている。国民を医療から遠ざける方向に進んでいることは明白だ。県内でも、地域に必要な医療が確保されない事例が増えつつあり、制度疲労は極限に達している。こうした状況に対し、当協会は、歯科・歯科が一体となって政策提言を行い、現場の声を社会に届けることに取り組んできた。

昨年の兵庫県知事選では、当会理事の大澤芳清氏が立候補し、「現場から政治へ」という思いを体現する新たな挑戦をしていただいた。多くの会員の皆様が自発的に応援し、県民に政策を訴える姿勢を示すことができた。これか

らも、各種選挙において、医療を守る政策を掲げる候補者や政党を見極め、地域医療をよくする政策への転換を後押ししていく必要がある。歯科分野においても、診療報酬や歯科医師数の抑制政策が進められているが、10年後を見据えれば不足が明らかだ。歯科理工士不足問題も深刻で、歯科医療費の総枠拡大は待たない状況だ。

若手世代にとって、安心して働ける医療環境の整備は急務だ。医師数の計画的増加と診療報酬の大幅増加を同時に進めなければならぬ。協会の理念「開業保険医の生活と権利を守る」「住民とともに地域医療を守る」を柱に、皆さまと共に地域医療の未来を構築していきたい。

医療・福祉の負担軽減、市民とともに学習会、但馬の地域医療の課題改善求め取り組み継続

発言

医療・福祉・介護 連携の会を継続



支部長 支那 勝也
阿部 評議員

支部独自で「医療と福祉を考える会」を長年開催している。4月は「脳梗塞による嚥下障害」をテーマに、私自身の経験をもとに講演し、多職種37人に参加いただいた。医療・福祉・介護の連携に資することができれば幸いだ。会員の要望を受け、「医院継承セミナー」を開催し、高評価を得た他、「介護や在宅医療に役立つ制度」をテーマとした学習会には、会場いっぱい107人が参加した。

毎回の幹事会では一番目の議題で会員拡大を取り上げ、

電話や紹介状等きめ細かく取り組み、入会が進んでいる。今後も、会員のニーズに応え、市民にも訴求する活動を推進していく。

真に国民のための 政治をしてほしい



支部長 支那 善紀
北阪 評議員

裏金政治で政権を担ってきた自民党は、衆院選挙の結果、少数与党となった。その後、石破総理による新人議員への10万円配布が明るみに出た。野党5党派は企業・団体献金の禁止法案の一体化で合意したが、自民党は大企業などへの癒着が著しく、献金

を支持している。著しい物価高騰、米不足な

象についてのアンケート、医

療・福祉の負担軽減、市民とともに学習会

但馬の地域医療の課題改善求め取り組み継続

被爆80年、非核「神戸方式」50年 反核・平和守ろう

反核医師の会は、被爆80年と被団協のノーベル平和賞受賞を受け、5月17日に被爆体験の継承をテーマに講演会を開催。九条の会は2月と5月に講演会を実施した。

今年3月、神戸市は突如、非核証明書の提出がなされていない米掃海艇ウォーリアの神戸港への入港を許可した。協会と反核医師の会は市に抗議声明を提出し、非核「神戸方式」の厳守を求めた。政府は安保三文書を改定し、専守防衛の国是を投げ捨てるような動きを見せている。反核医師の会、九条の会にぜひご入会・賛同いただきたい。

震災からの学びつなぐ

西宮・芦屋支部は、阪神・淡路大震災30年の集い「阪神・原発事故―熊本地震―能登半島地震」を開催し、282人が参加した。石橋克彦神戸大学名誉教授によるメイン講演のほか、アスベスト曝露や能登半島地震の現状についての報告、ポスター展示などが行われ、書籍も発行予定だ。新型コロナウイルス有害事象についてのアンケート、医

療DX対応や災害時のトイレ問題などをテーマとした研究会など、今後も多様な課題に取り組みたい。

北摂・丹波支部は、1月と4月に歯科スキルアップセミナーを丹波と三田で、2月には医療の保険請求に関する会

員懇談会を開催。市民公開講演会ではマイクロプラスチック問題をとり上げ、好評を得た。

三田市では10月から子ども医療費が高3まで所得制限なしで無料化される一方、市民病院の再編統合計画の事業費が膨らんでいる。医療費助成が再び改悪されないよう地域医療の拡充を訴えていく。

加藤勝信財務大臣は、私の地元岡山選出で親しくしているため、大臣の秘書に連絡し、協会の国会要請に応じるように言った。これからも、現場の声を伝えていく活動に参加していきたい。

支部では毎月リモート幹事

「保険でより良い歯科診療を！」運動は、過去の差額診療時代を反省し保険診療の質向上を目指し、歯科技術の問題に向き合い技工士の信頼関係を築いてきた。そろそろ歯科の低評価問題を前面に押し出し、歯科医師、技工士、衛生士、歯科助手、患者とともにたたかおうべき時期だ。マイナ保険証導入では高齢者や障がい者への配慮が欠

け、個人情報漏洩や災害時の対応不備も問題だ。いっそう大きく声を上げて安全な社会を築き、保険診療体系を取り戻すべきである。年金制度について就職氷河期世代の未加入問題も深刻化する。貧困と医療に関する提言を協会として県民に問題提起していただきたい。

参議院選挙にあたり
新パンフ活用を

たび重なる診療報酬のマイナ改定と物価・人件費の高騰により、医療機関の経営は困難を極め、地域医療は崩壊の危機にある。患者も窓口負担増に不安を抱えている。7月の参院選は政策を見極めて投票行動をとる必要がある。政策部で社会保障費削減政策の問題点を解説したパンフレットを作成する。

医療費窓口負担の問題点について、6月8日に神奈川・千葉・大阪歯科各協会と共催し、オンラインイベント「みんなで語ろう窓口負担ゼロ」を開催する。ぜひご参加を。

阪神・淡路大震災から30年、協会は「震災30年プロジェクト」に参加した。当時のアスベスト飛散は、世界的に見ても最も深刻で、関連疾患の一つである胸膜中皮腫の潜

(7面へつづく)

病院経営の深刻さ 国会へ伝える



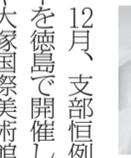
支部長 支那 武彦
西島 評議員

2月に桂好志郎社労士を招き、「採用と定着のポイント」について講演を実施し、職員が働きやすい環境づくりや魅力的な求人票作成など、実践的な助言が示された。

昨年、診療報酬改定により経営は厳しさを増し、コロナの補助金を除いて病院経営はマイナス2・7%の赤字と発表されている。当院もそれを表している。

加藤勝信財務大臣は、私の地元岡山選出で親しくしているため、大臣の秘書に連絡し、協会の国会要請に応じるように言った。これからも、現場の声を伝えていく活動に参加していきたい。

バスツアーや「重度訪問介護」懇談会など豊かな活動



支部長 支那 明
大橋 評議員

12月、支部恒例のバスツアーを徳島で開催し、藍染体験や大塚国際美術館の見学を通じて26人が交流を深めた。

12月には「重度訪問介護」制度説明と懇談会を開催し、制度の概要とともに、事業所が島内にないため、島外の事業所からヘルパーが派遣されている現状などが報告され、制度理解の促進と併せて地域での基盤整備の必要性が共有された。

支部では毎月リモート幹事

「保険でより良い歯科診療を！」運動は、過去の差額診療時代を反省し保険診療の質向上を目指し、歯科技術の問題に向き合い技工士の信頼関係を築いてきた。そろそろ歯科の低評価問題を前面に押し出し、歯科医師、技工士、衛生士、歯科助手、患者とともにたたかおうべき時期だ。マイナ保険証導入では高齢者や障がい者への配慮が欠

け、個人情報漏洩や災害時の対応不備も問題だ。いっそう大きく声を上げて安全な社会を築き、保険診療体系を取り戻すべきである。年金制度について就職氷河期世代の未加入問題も深刻化する。貧困と医療に関する提言を協会として県民に問題提起していただきたい。

参議院選挙にあたり
新パンフ活用を

たび重なる診療報酬のマイナ改定と物価・人件費の高騰により、医療機関の経営は困難を極め、地域医療は崩壊の危機にある。患者も窓口負担増に不安を抱えている。7月の参院選は政策を見極めて投票行動をとる必要がある。政策部で社会保障費削減政策の問題点を解説したパンフレットを作成する。

医療費窓口負担の問題点について、6月8日に神奈川・千葉・大阪歯科各協会と共催し、オンラインイベント「みんなで語ろう窓口負担ゼロ」を開催する。ぜひご参加を。

阪神・淡路大震災から30年、協会は「震災30年プロジェクト」に参加した。当時のアスベスト飛散は、世界的に見ても最も深刻で、関連疾患の一つである胸膜中皮腫の潜

(7面へつづく)

(6面からのつづき)

伏期間の平均は約40年とされる。2035年頃に被害者の増加が危惧されるが、国や自治体、メディアは沈黙を続けている。情報発信が重要で、協会では注意喚起のポスターを作成した。

歯科診療報酬の大幅引き上げを



会 喜 川村 川村 議員

昨年の診療報酬改定ほど歯科医療の現場を反映していない改定はない。問題点は、①医療保険になじまないベースアップ評価料の導入、届け出の煩雑さと人件費の高騰、②歯科医師の訪問診療料や歯科衛生士の訪問歯科衛生指導料引き下げ、③クラウン・ブリッジ維持管理料の部分的撤廃だ。

必要なのは、保険点数自体を10%以上大幅に引き上げること一部負担金の引き下げだ。さらに、「ゼロの会」が提唱するように負担金がゼロとなれば、経済的理由による受診控えも解消される。

歯科技工士の所得問題 議論を進める



会 雄 幸田 幸田 理事

歯科技工士の所得問題解決には、保団連・協会が掲げる歯科医療費総枠拡大があるが、実現には費用が3000

〜5000億円、期間が20年かかる可能性があり、その間に技工士がいなくなる懸念がある。さらに、実現しても患者の窓口負担が増すため、負担軽減も同時に求められる。歯科部会では、所得補填制度についても議論中だ。1000億円でも実現可能で、一人当たり月20万円である。解決策として採用してほしい。

「保険でより良い歯科」 連絡会で技工士と懇談



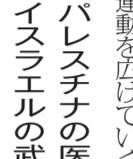
会 良 大野 大野 議員

歯科部会は「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会に参加し、署名活動や市民学習会を通じて歯科医療の充実を訴えている。署名は窓口負担引き下げと保険給付範囲拡大、歯科医療費の総枠拡大を求め、6月に国会に提出予定だ。参院選では財源が争点になるだろう。

2月の「歯科技工士の危機を乗り越えよう！ホンネで語るタレ」では、歯科医師と歯科技工士がアピール「国民の口腔の健康を守るため、歯科医療費の総枠拡大と歯科技工取引ルール確立を」を確認した。活動はメディアにも取り上げられている。

今後も歯科と連携を深め、運動を広げていく。

パレスチナの医療へのイスラエルの武力行使NO



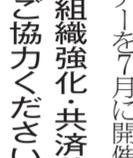
部 美 水 水 理事

国際部は1月、パレスチナ支援の緊急要請行動を実施し、協会はZoom中継拠点

として200カ所と連携。国連パレスチナ難民救済事業機関保健局長の清田明宏先生らから医療支援の困難や国連機関の活動状況が報告された。3月にはパレスチナの医療従事者や医療施設などへのイスラエルによる武力行使を許さない理事会決議をもとに外務省へ申し入れを行った。

4月には日本で暮らす外国人が安心して医療を受けられるよう、「やさしい日本語」研修を実施。今後、英語セミナーを7月に開催予定だ。

組織強化・共済普及月間へご協力ください



部 共 共 博 明 共 博 明 理事

兵庫協会の会員数は5月18日現在7747人。春の組織強化・共済普及月間では、協会の一味違う企画を広く案内し、訪問活動等を通じて4月に51人が入会、11人の実増となった。未入会も含めた病院一斉訪問では勤務医向けポスター掲示やニュース配布を行いました。6月には豊岡、加古川の病院でライブランセミナーを開催予定だ。

「頼りになり役に立つ、会員になって得をする協会」を知っていただき、より多くの先生方を協会に迎えられるよう、引き続きお力添えをお願いします。

【文書発言】

歯科部会 小寺 修 評議員

「野党は本場に国民のほうを向いているのか」

「2026年度診療報酬改定対策の取り組み/日常診療経 験交流会にご参加ください」

研究部 清水 映二 理事

執行部答弁

大臣・議員への働きかけに感謝



部 一 白岩 白岩 理事

網島評議員の発言に補正させていただき、網島先生より加藤勝信財務大臣をご紹介いただき、4月24日に衆議院議員会館を訪問し、あいにく大臣は外遊中だったが、秘書の方が丁寧に対応していただきました。他の先生方も、お知り合いの国会議員の先生をご紹介いただきたいと思います。役員が責任を持って直接要請する。

現場の声に立ち 政策提言を展開

西山 裕康 理事長

阿部先生の尼崎支部活動のご紹介は、地域に根ざした支部活動の真価が凝縮されており、敬意を表する。

谷口先生の力強いご指摘は、政治の私物化と国民の切り捨てが進む現状への厳しいご指摘であると共感する。協会は、特定の政党やイデオロギーに偏らず、現場の声に立脚した政策提言を展開し、医療・介護・子育て・福祉の充実を争点化していく。

宮崎先生のご報告された、震災30年のつどいは教訓の継承として重要であり、書籍化により社会全体に発信でき、貴重だ。安部先生のご発言された三田市での子ども医療費無料化の拡充という成果は、支部活動が政策に影響を与えた好事例だ。一方で、大規模病院再編による市税負担の増

加と医療費助成制度への影響は、今後の地域医療のあり方に大きく関わる課題だ。

曾野先生のご指摘された「ハラスメント防止対策」は、医療現場においても重要な課題だ。網島先生の積極的な働きかけは、現場と政治をつなぐ貴重な橋渡しであり、深く感謝する。

藤井先生のご紹介された「地域医療を考える懇談会」では、地域住民を含め、実りある議論が展開された。現場の知恵と工夫を学びながら、制度改善と支援の在り方を共に探っていきたい。大橋先生のご報告は、会員・家族を結ぶ支部活動と、学びの場づくりがバランスよく工夫されており、印象深く拝聴した。

高原先生のご発言された、反核・平和運動は「命を守る」という医療の原点であり、その姿勢は、若い世代への橋渡しとなる。9条の会のアピールへの賛同を重ねてお願いしたい。

歯科技工士問題について、幸田先生の「所得補填制度」は、経済・政策・財政の観点から掘り下げ、単なる予算論にとどまらず、社会的投資として評価すべき提案だ。

島津先生のご発言された「保険でより良い歯科医療を」の理念は、協会の基本方針だ。歯科での「差額診療」「低診療報酬」「歯科医師数」に関する歴史的経緯は、ゼロの会で宇佐美保団連歯科代表、小澤大阪歯科協合理事長、二村神奈川協会副理事長の3人の歯科医師と対談し、勉強になった。

マイナ保険証に象徴される

医療DX推進について、島津先生の以前からのご批判は的を射っており、さらに声を上げていきたい。また、「貧困と格差の解消」のために私たちが現物給付の充実、特に窓口負担ゼロの実現を重要課題と位置づけ、「ゼロの会」運動に力を入れている。

「ベースアップ評価料」等、事態と大きくかけ離れた今回の改定についての川村先生のご発言は、現場の多くの声を代弁している。

大野先生のご報告にあった「保険でより良い歯科」連絡会は、医療現場と住民をつなぐ実践の場として大事な取り組みだ。歯科医師と技工士、衛生士、歯科助手などの医療従事者、そして患者さんが分断されないよう注意し、医療・歯科で連携して、引き続き取り組んでいく。

医療の財源は、税金、社会保険料、個人負担だ。まず「窓口負担ゼロ」を目指すのが私たちの基本的な考え方で、残りの社会保険料と公費に関しては、所得再分配機能の考え方からも、やはり公的財源を主張したい。

木原先生のご紹介通り、参議院選を前に、政策パンフレットを発行する。お読みいただき、患者さんにも紹介していただきたい。

上田先生のアスベスト問題への粘り強い取り組みに対し、心より敬意を表する。水間先生が紹介された、ガザの医療従事者の解放を求める緊急行動は、国際的な活動であり、医療団体としての責任ある姿勢を示すものだった。

小寺先生のご発言に関して、政策の背景にある権力構造に目を向けることが極めて重要だ。

第105回 兵庫県保険医協会評議員会決議

現在、医療機関は、物価高騰および賃上げ圧力による経費増に加え、長年据え置かれてきた低水準の診療報酬により、かつてない深刻な経営危機に直面している。民間・公的を問わず、多くの病院で休床や病床削減が相次ぎ、医療・歯科診療所においても廃業・休業が後を絶たない。このままでは、国民が必要とする医療の提供が著しく困難となり、地域医療の崩壊を招くおそれがある。医療提供体制の維持には、経費増に見合った診療報酬の抜本的な引き上げが不可欠である。

物価高は医療機関だけでなく、国民の暮らし全体を圧迫している。こうした社会経済的不安は、先の総選挙において国民の政治的判断に如実に現れ、自公政権には厳しい審判が下された。その結果として、協会・保団連の長年の運動に世論が呼応し、政府が進めようとしていた高額療養費制度の上限引き上げの凍結、ならびに75歳以上の高齢者への資格確認書の無条件交付など、重要な成果を勝ち取ることができた。

しかしながら、野党である日本維新の会は、自公政権と歩調を合わせ、さらなる医療費自己負担増を推進しようとしている。また、国民民主党は、自公政権下で長年続いてきた企業・団体献金に依存した金権政治の構造を温存しようとする姿勢を見せている。来たる参議院選挙では、自公政権による医療・社会保障切り捨て路線を転換させるだけでなく、こうした構造的な問題に真正面から向き合わない一部野党に対しても、明確な審判を下す必要がある。今年には阪神・淡路大震災から30年の節目にあたる。同震災が私たちに残した最大の教訓は、平時に存在する格差や貧困が、災害によってさらに深刻化するという現実である。だからこそ、災害発生前にこそ、社会保障を充実させ、格差と貧困の是正に取り組む必要がある。ところが、政府の低医療費政策はこの教訓に背を向けており、南海トラフ巨大地震の危険性が高まる今こそ、社会保障の強化を災害対策の柱と位置づけるべきである。

国際情勢に目を転じれば、トランプ前大統領の復権によって、アメリカは同盟国に対し、軍事的負担のさらなる肩代わりを迫っている。日本に対しても、防衛費をGDP比3%にまで引き上げるよう圧力が強まっている。こうした中、石破政権は日米首脳会談の共同声明において「2027年度以降も防衛力を抜本的に強化する」と約束し、従来の自公政権と同様、アメリカの軍事戦略に追随する姿勢を鮮明にしている。

今年には、被爆・戦後80年、そして非核「神戸方式」制定から50年という、平和国家としての日本にとって重要な節目でもある。日本国憲法はその前文において、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように」と高らかに謳っている。日本は唯一の戦争被爆国として、核廃絶を求める国際世論と連携し、その運動の先頭に立つ責務がある。アメリカ力追従の軍事大国化路線を転換し、憲法の平和理念を今こそ実践すべき時である。軍事費の異常な拡大は、限られた国家財政の中で、医療・福祉・教育といった社会保障費の抑制に直結する。結果として、国民の暮らし、健康、そして命そのものが脅かされることになる。

私たちは、いのちと健康を守る医師・歯科医師として、日本のさらなる軍事大国化を断じて許さず、社会保障の充実を通じて、誰もが安心して暮らせる豊かで平和な社会を実現するため、全力で奮闘する決意である。

我々の要求(個別要求は掲載省略)

- 低医療費政策を転換し、社会保障の充実を
- 消費税の減税を
- 災害対策の充実を
- 環境公害対策の充実を
- 利権政治の一掃を
- 日本の独立と平和外交を
- 立憲主義の堅持を



自家歯牙移植の基礎と臨床 ～インプラントと自家歯牙移植の棲み分け～

滋賀県長浜市 泉 英之先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

インプラントに対する 自家歯牙移植の特徴

近年、自家歯牙移植が再び注目を集めている。とくにヨーロッパでは臨床的にも積極的に取り入れられており、多くの臨床研究が報告されている。高い成功率が報告されており、従来のインプラント治療と並ぶ欠損補綴の選択肢として再評価されつつある。

自家歯牙移植は、主に1歯の欠損に対する治療として行われ、インプラント治療と比較されることが多い。適応に関して、インプラント治療は成長期の患者に対しては位置異常のリスクがあるため、原則として成長終了後に行うべきとされてきた。しかし、最近の報告では、成長終了後であっても経年的な顎骨の変化により、インプラントの位置異常が生じることが分かっている。たとえば臼歯部では、加齢とともにコンタクトの喪失などが起こり、あるメタアナリシスでは約41%の症例でこの現象が認められた¹⁾。一方、自家歯牙移植では歯根膜が存在するため、周囲の骨と自然な形で適応し、こうした位置異常は生じにくい。

また、大きな骨欠損を伴う部位に対しても、自家歯牙移植では骨造成を必要としない。これは、歯根膜が移植後の骨再生を促す役割を果たすためであり、骨造成を行わずに自然な組織再生が期待できる点で大きな利点である。さらに、インプラントではインプラント周囲炎のリスクが常に存在するのに対し、自家歯牙移植ではこのような特有のリスクが存在しないことも、大きな強みとして挙げられる(図1)。

成功率に関しては、10年間の残存率がインプラントで約96.4%²⁾、自家歯牙移植で94.6%³⁾(図2)とされており、両者に大きな差はないとされる。異なる研究間での単純比較には注意が必要であるが、サバイバルレートという観点では、同程度と見なすことができる。その上で、インプラント特有のリスクが存在しないという点で、自家歯牙移植への関

心が高まっている。

歯根膜と歯髓の治癒

自家歯牙移植の成功には、歯根膜と歯髓の治癒に関する理解が不可欠である。歯根膜が正常に治癒しない場合、炎症性吸収と置換性吸収(アンキローシス)が問題となる。炎症性吸収は、歯髓壊死と歯根膜の損傷が合併した場合に生じやすく、移植後3カ月以内に起こることが多いため、この期間のエクソ線によるフォローアップが極めて重要である。対して、置換性吸収には現在有効な治療法が存在せず、経過観察しか手段がない。特に年齢が若いほど進行が早い場合、若年者で生じた場合には、早期に抜去や補綴的対応などを検討する必要がある。

歯根膜のダメージを防ぐためには、移植操作をできるだけ迅速に行うことが必要であり、1分でも早い移植が望ましい。ドナー歯の一時的保存が必要な場合には、保存液として牛乳が適していると私たちは考えている。

歯髓の治癒は、歯根が未完成の歯において期待でき、特に歯冠歯根比が1:1~1:1.5程度のタイミングが、治癒と予後の両面からみて適切な時期とされている。

術式としては、即日移植と、抜歯後に数週間受容部の治癒を待ってから行う遅延型移植がある。ドナー歯が小さい場合は、即日移植では適合が得られにくく、失敗のリスクが高まるため、遅延型移植が適しているとされる(図3)。さらに近年では、3Dプリンターでドナー歯のレプリカを作成し、事前に受容窩を形成することで、術者依存性(テクニックセンシティブティ)を軽減し、口腔外の時間をほぼゼロにする方法も登場しており、成功率の向上が期待されている。

なお、歯根完成歯における無歯顎堤への自家歯牙移植については、筆者らは成功率が低いと推奨していない。

適切な症例選択

成功率を高めるには、症例選択が

極めて重要である。とくに以下の条件が、成功の可否や予知性に大きく関与するとされている:

- いかなるときでも、健全な歯根膜は成功のための必須条件である。
- 患者の年齢が低いほど、成功率は高いと考えられる。
- 歯根の形態が単純なほど、予知性は高いと考えられる。
- 抜歯窩への移植は、非抜歯窩への移植より無難であると考えられる。
- 40歳以上の患者の非抜歯窩への移植は、適応症とは考えにくい。

このように、自家歯牙移植は確かな診断と適切な症例選択、そして高度な術式の実施によって、非常に有効な治療法となり得る。より詳しい内容については、参考文献4を参照されたい。

参考文献

- 1) Prevalence of proximal contact loss between implant-supported prostheses and adjacent natural teeth: A systematic review and meta-analysis. Victor Augusto Alves Bento et al. J Prosthet Dent. 2023 Mar;129(3):404-412.
- 2) Long-term (10-year) dental

図1

インプラントに対する自家歯牙移植の利点と欠点

利点

- より早い治癒
- 骨造成が不要
- 審美性に優れる
- 歯の移動が可能
- 若年者に適している

欠点

- 適応症が限られる
- テクニックセンシティブ(術者の技術に依存)

図2

Long-term outcomes of autotransplantation of teeth: A case series. Tsukiboshi M, et al. Dent Traumatol. 2019.

患者総数: 119人

移植時患者年齢: 11~55歳(平均30.1歳)

観察期間: 2~26年(平均10.2年)

移植歯数: 129本

生存率: 94.6%

成功率: 85.3%

移植年齢30歳以下: 成功率91.7%(移植歯数: 60本)

移植年齢31歳以上: 成功率79.7%(移植歯数: 69本)

根末完成歯: 成功率100%(移植歯数21本)

図3



implant survival: A systematic review and sensitivity meta-analysis. Mark-Steven Howe et al. J Dent. 2019 May;84:9-21.

3) Long-term outcomes of autotransplantation of teeth: A case series. Mitsuhiro Tsukiboshi et al. Dent Traumatol. 2019 Dec;35(6):358-367.

4) 自家歯牙移植<増補新版>. 月星光博【著】. 2014年05月10日. クインテッセンス出版株式会社

(5月11日、歯科定例研究会より)

春の共済募集好評受付中!

ドクターに最適を提供します

協会の共済制度

1 老後リスクに!

しっかり増やす貯蓄型保険

保険医年金

加入者数5万人、
積立金総額1兆3千億円

+

もっと便利な積立制度
積立年金 DefL



※サイバー保険もお問い合わせください!

1 死亡リスクに!

格安の保険料と
高い配当還元

グループ保険
+
新グループ
保険

1 休業リスクに!

非営利だから
コスパが秀逸

休業保障制度
+
所得補償保険
+
休業損害補償
天災や水漏れ等による休業損害も安心

1 保険料が断然安い!

介護保険 Sasa*L (ササエル)

1 医事紛争リスクに!

医師賠償責任保険

1 もっとあるリスクに!

自動車保険、火災保険
医療保険、ガン保険

あっちこっちで
保険に入ったから
整理がつかない

協会の共済は
ご加入内容をまとめて管理。
ワンストップサービスを
提供します。



協会の共済制度でドクターもスタッフも安心 お問合わせは共済部まで ☎ 078-393-1805